

令和2年度第3回

隠岐の島町総合教育会議 会議録

1. 開催日時 令和3年3月24日(水)9時30分～9時48分
2. 開催場所 隠岐の島町役場 3階 303会議室
3. 出席者 町長 池田 高世偉
教育委員会 教育長 野津 浩一
教育委員会 委員 野津 幸恵
教育委員会 委員 山下 豊範
教育委員会 委員 常角 敏
教育委員会 委員 谷田 一子

【事務局】

総務学校教育課長 吉田 隆、社会教育課長 野津千秋、
中央公民館長 金坂賢一、総務学校教育課長補佐 中村恒一

4. 協議事項 第2次隠岐の島町教育大綱の策定について
5. 傍聴人数 0名
6. 会議の経過 別紙のとおり
7. 会議録作成者 総務学校教育課 総務係 中村恒一
8. 会議録署名者 署名日 令和 3年 4月 27日

町長 池田高世偉

教育委員 山下豊範

別 紙（議題の経過）

○開 会

事務局職員が出席者の確認をした後、町長は開会を宣言した。

（池田町長）例年だと年1回総合教育会議を開催しているが、今年度については3回目を迎える。新型コロナウイルスという大きな課題で意見交換をし、また、教育大綱の策定において、委員の皆さんの思いをお聞きし、その中でも「隠岐びと」について、改めて議論することができた今年度の総合教育会議であったと思う。改めてお礼申し上げたい。

令和3年度も出来るだけ意見交換できる場を持ちたいと考えており、引き続きご協力をお願いしたい。

○会議録署名者の氏名

町長は、山下委員を議事録署名者に指名した。

○協議事項

（1）第2次隠岐の島町教育大綱の策定について

事務局より第2次隠岐の島町教育大綱（案）について、前回の教育委員会の会議の中で協議した修正点等の説明と確認を行った。

（吉田課長）令和元年度3月に議論を始め、今年度2回の会議で議論してきた。本日配付した大綱案について議決をいただきたい。

議会への報告については、総務教育民生常任委員会で策定の流れと基本的な考え方を説明した。完成後は、ホームページにアップするなど関係機関への周知を図ることとする。

（常角委員）我が町が大切にしなければいけない中身が、基本施策（1）①の中の「ふるさとに愛着と誇りを育み、貢献意欲を高めるふるさと教育を推進」というところで、今後のまちづくりにも影響してくる。貢献意欲を高めることは、この町の良さを知り、継承し、発展していくという意味合いを持っていると思うが、学校教育の中でこのことが実現しなければならない。どうすれば貢献意欲が高まるような学習過程を組めるかということが今後の指導の重点になると思う。ふるさと教育でふるさとに価値を見出して、自らの生き方に繋がらなければいけないと思う。中身が充実することが大切。

各学校の学校経営方針等を見ても、中にはふるさと教育の文言が入っていない学校もあり、私も学校へ行って話をしたいと思うが、教育委員会からも学校教委連絡会等で周知徹底する必要があるのではないかと。

（池田町長）常角委員よりふるさと教育について、教育委員会から進言等すべきだのご意見があった。委員の皆さんも沢山のご意見はあると思うが、一旦この大綱の承認をお願いしたいと思う。本日お示しした教育大綱についていかがか。

● 第2次隠岐の島町教育大綱については、異議なく承認された。

○意見交換

（山下委員）先日、西郷南中学校の卒業式で町長が「隠岐びと」という言葉を用いて生徒たちに祝辞を述べられた。保護者も含め、それをどういう風に受け取

り、理解するか人それぞれであると思うが、卒業式という場にすごく相応しい言葉であったと感じた。

(池田町長) 総合教育会議の中で、「隠岐びと」について色々な議論をしたので、これから改めて使っていこうと考え、卒業式で使ったところである。

(山下委員) この教育大綱が、現場の先生に浸透していけばいいと思う。

(吉田課長) 4月に学校教委連絡会でこの大綱の意味を伝えていきたい。また、町の課長会でも内容についてしっかり伝えていきたい。

(野津委員) 大綱や計画等、色々なものを作るが、それを実際に浸透させ、広げていくことは難しい。今年度ここで話をしたことが自分自身に染み込んできている。特に学校現場において先生方が、常に心に留めておきながら子どもたちに接してもらうことはすごく大事なことです。そうなるためにどうしたらよいか、色々な場面で声を出して伝えていくことをしていければよいのではないかと思う。

(谷田委員) 現場には様々な思いを持った先生方がおられ、色々な熱量で指導にあたっている。折々にこう言った話題を提供していただき、話し合う時間を持つことで、一つの筋を太い柱としていくことができれば良いと思う。是非、浸透していった欲しい。

(野津教育長) 「隠岐びと」について、自分は深く考えていなかったが、皆さんの意見であったり、山下委員の思いがよく分かった。町の思いとして大事にしていきたい。この教育大綱をこの4月から初めて隠岐の島町に赴任される先生方等の研修会でも伝えていきたい。特に「隠岐びと」のところを強調してお話させていただきたい。

(常角委員) 「隠岐びとの心」の中でもお互いを大切にする人権感覚といったところが一番基盤になるところだと思っている。基本方針(2)②に「人権の理解を深め」とあり、ここに人権のことが特化して書いてあるが、本来は教育全般の大もとにあるもので、基本方針(2)①～③の全般のところにも基盤としておくべきである。自分が学校にいる時は、学校経営の中心は人権教育であり、その上で学校経営をやるといった形で進めていくことがよいと考えていた。

教育大綱はこのままでよいと思うが、心に留めておいていただきたい。町民も職員も含めて、人権に関する研修が必要となってくると思うので、是非お願いしたい。

(池田町長) ふるさと教育については、昔と全然違ってきている。自分の若いころはまず、都会に出ることばかり考えていたが、今はそれも通過点で、都会から「この隠岐で〇〇がしたい。」と具体的なことを言って帰ってくる子が増えており、それらはふるさと教育による成果だと実感している。

○閉会

町長は閉会を宣言した。